

ナレッジ・マネジメントツールの 比較検討資料

2025/11/11 (火)

※【Confidential】「貴社内でのツールご検討限」での、ご利用をお願いしております※

1. はじめに

2. 本資料ご利用の注意点

3. ツール選定の基準は、どうするか？

4. 主要ツールの比較（サマリ版）

5. 主要ツールの比較（詳細版）

はじめに

- この度は、ナレッジ・マネジメントツール「ナレカン」にご興味をお持ちいただきありがとうございます。
- 本資料は、ナレッジ・マネジメントツールのご導入を検討されている、貴社向けに作成されたものになります。
- 貴社内での検討のお役に立てるよう、
 - ①まず、「ナレッジ・マネジメントツールをどのような軸で比較すべきか？」を明らかにした上で、
 - ②実際に、「各ナレッジ・マネジメントツールを比較分析」しております。
- 是非、本資料が、貴社のナレッジ・マネジメントツール検討の一助になれば大変嬉しく思います。

1. はじめに

2. 本資料ご利用の注意点

3. ツール選定の基準は、どうするか？

4. 主要ツールの比較（サマリ版）

5. 主要ツールの比較（詳細版）

【重要】本資料のご利用にあたっての注意点

■ ①本資料の公開範囲

- 本資料は、「貴社内でのツール検討」のお力になる目的で作成・ご提供させて頂いているものになります。
- そのため、情報の取扱いについてはご注意いただき、下記についてはご遠慮いただけますよう、よろしくお願いします。
 - － 1) 貴社メンバー以外の方への、内容共有
 - － 2) 他ナレッジ・マネジメントツール事業者(ナレカンの競合事業者等)への、本資料の共有
 - － 3) Web・SNS・書籍等、第三者が閲覧できる場所への、内容公開

■ ②本資料の内容の正確性

- 本資料の表紙に記載された日時時点における、マーケットの最新情報を、弊社で可能な限り、調査・分析したものになります。
- ただし、公開情報を元にしたものもあり、内容の最終的な正確性については弊社では担保しきれるものではないため、本資料の情報を取り扱いされる際には、この点につきご了承の程よろしくお願い申し上げます。

-
- **なお、「貴社プロジェクトチーム内での検討資料」「上申資料」「稟議資料」等へのご利用は、もちろん大歓迎です。**
 - **何かご不明点ありましたら、是非ご遠慮なくお問い合わせください。**

1. はじめに

2. 本資料ご利用の注意点

3. ツール選定の基準は、どうするか？

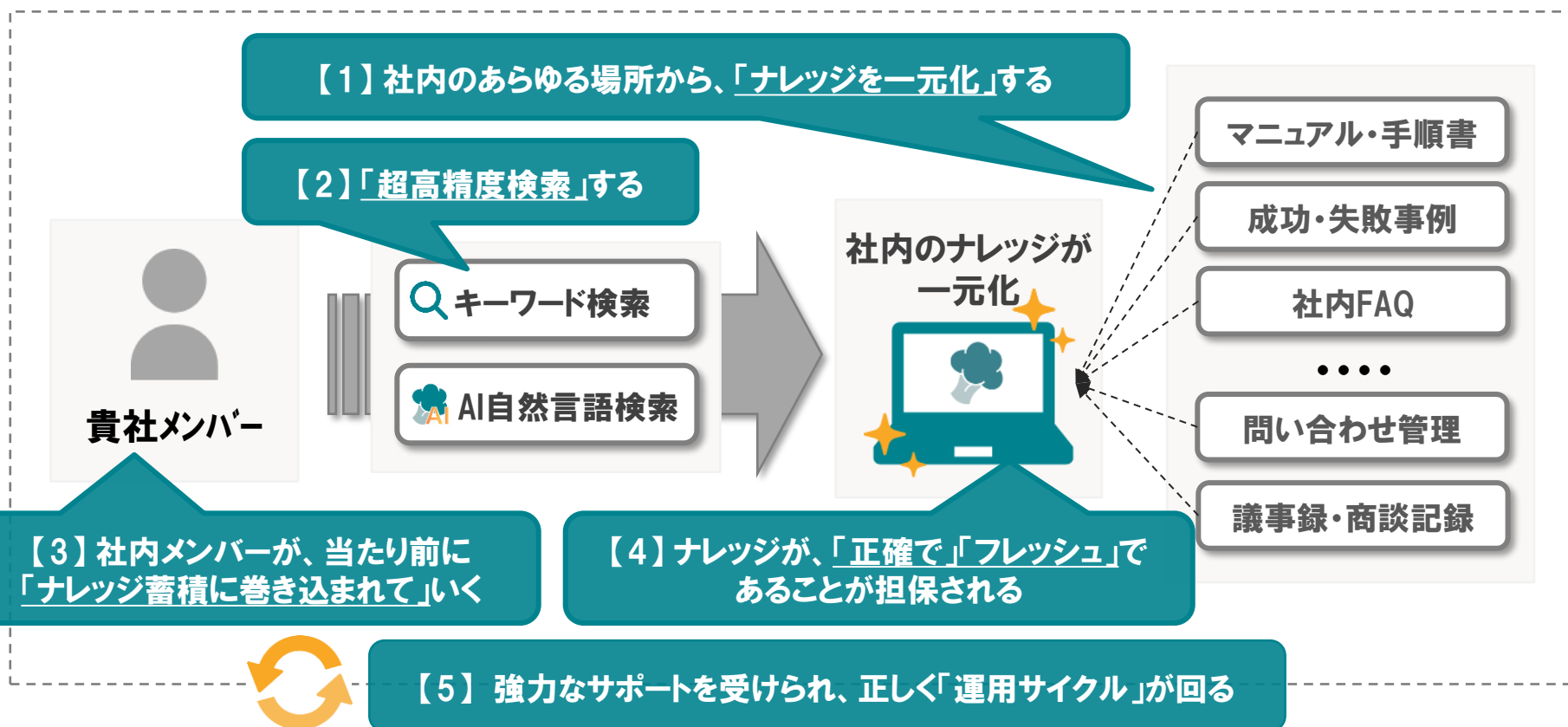
4. 主要ツールの比較（サマリ版）

5. 主要ツールの比較（詳細版）

「ナレッジ・マネジメントツール」選定基準の、考え方

- 前提として、“ナレッジ・マネジメントの全プロセス”は下図の通り。
- これに“ツール選定に必要な項目”を加えることで、「ナレッジ・マネジメントツール選定のCriteria（=選定基準）」が完成する。

ナレッジ・マネジメントの全プロセス



「ナレッジ・マネジメントツール」の選定基準

- 一般的に、最終的な「ナレッジ・マネジメントツールの選定基準」として、下記を採用する企業様が多い。

「ナレッジ・マネジメントツール」の選定基準

A) すべての前提条件

- そもそも、**プロダクトがシンプル**で使いやすい
- そもそも、**思い通りにアクセス権を設定**できる

B) ナレッジ・マネジメントのプロセスに適合した仕様（前頁参照）

- ① 社内のあらゆる場所から、「**ナレッジを一元化**」できる
- ② それを、「**超高精度検索**」できる
- ③ 自社メンバーが、**当たり前**に「**ナレッジ蓄積に巻き込まれて**」いく
- ④ ナレッジが、「**正確で**」「**フレッシュ**」であることが担保される
- ⑤ 強力な支援を受けられ、**正しく**「**運用サイクル**」が回る

C) その他の必要条件

- ⑥ **コストが予算内**である
- ⑦ 大企業が導入可能な**セキュリティ基準**である
- ⑧ **スマートフォンやタブレット**からも利用できる

1. はじめに

2. 本資料ご利用の注意点

3. ツール選定の基準は、どうするか？

4. 主要ツールの比較（サマリ版）

5. 主要ツールの比較（詳細版）

主要ツールの比較（サマリ）

※各ツールのコストの前提・詳細等は、次頁以降に記載の通り。

■ 前述の基準に、各ツールを当てはめて比較すると下記の通り。

	(1) ナレカン	(2) Qast	(3) NotePM
(前提1) そもそも、プロダクトがシンプルで使いやすい	『非IT企業』が自由に使いこなすことを想定	UI/UX(ユーザーの見る画面、ユーザー体験)に、好みが分かれる	基本はエンジニア向けなので、ITに詳しくないと難しい
(前提2) そもそも、思い通りにアクセス権を設定できる	フォルダ単位で、自由にアクセス権を設定可能	思うようにアクセス権設定できず、利用の障壁になる(後頁参照)	思うようにアクセス権設定できず、利用の障壁になる(後頁参照)
① 社内のあらゆる場所から「ナレッジを一元化」	テキストメモ・ファイルAI要約・メール転送・チャット連携で一元化可能	テキストメモ・ファイル要約は可。メール転送不可。チャット連携に制約	テキストメモは可。ファイル要約不可。メール転送・チャット連携は煩雑
② それを「超高精度検索」できる	通常のキーワード検索・AI自然言語検索・チーム辞書も実装	通常のキーワード検索・AI自然言語検索は可。チーム辞書は不可	通常のキーワード検索は可。AI自然言語検索・チーム辞書は不可
③ 自社メンバーが、「ナレッジ蓄積に巻き込まれて」いく	質問機能・ホーム画面・リアクション・メルマガ等の機能が充実	質問機能・メルマガは可。ホーム画面・リアクション機能は限定的	質問機能・メルマガは不可。ホーム画面・リアクション機能は限定的
④ ナレッジが「正確」で「フレッシュ」な事を担保	重複判定・断捨離・承認機能等、陳腐化を防ぐ仕組が充実	ナレッジの有効期限を指定する機能だけはある	重複判定・断捨離・承認機能は不可
⑤ 強力な支援受けられ、正しく「運用サイクル」が回る	国内企業のナレッジマネジメントに特化した深い知見の支援	300ID以上(最上位プラン)であれば、専属担当の支援あり	ナレカンが提供するような深い支援は押し出していない
⑥ コストが予算内であること	150名利用で 24万円/月	150名利用の場合 36万円/月	150名利用の場合 19万円/月
⑦ 大企業が導入可能なセキュリティ基準	セキュリティ基準に問題はない	セキュリティ基準に問題はない	セキュリティ基準に問題はない
⑧ スマホやタブレットからも利用可能	スマホ・タブレットでもPC同様に使えるレベル	UI/UX(ユーザーの見る画面、ユーザー体験)に、好みが分かれる	そもそもスマホアプリ版が用意されていない

1. はじめに

2. 本資料ご利用の注意点

3. ツール選定の基準は、どうするか？

4. 主要ツールの比較（サマリ版）

5. 主要ツールの比較（詳細版）

5. 主要ツールの比較（詳細版）

- A) すべての前提条件
- B) 「ナレッジ・マネジメント」のプロセスに適合した仕様
- C) その他の必要条件

	(1) ナレカン	(2) Qast	(3) NotePM
<p>(前提1) そもそもプロダクトが シンプルで使いやすい</p>	<p>○ 「ITに詳しくない65歳の方でも何の説明もなく活用できた」という言葉が寄せられる程、徹底的にシンプルに寄せたプロダクト。</p>	<p>△ UI/UX(ユーザーの見る画面、ユーザー体験)に、好みが分かれる。</p>	<p>△ 25年5月に『リッチテキスト(=Wordのように簡単に書ける機能)』が利用可能になったが、それまではエンジニア向けの『マークダウン記法』という特殊な方法でナレッジ管理する必要があった。</p> <p>そのため、基本的に「エンジニアが使う情報管理ツール」として機能開発されており、ナレカンのようにITに詳しくない人が使いこなすのには苦勞する。</p>
<p>(前提2) そもそも、思い通りに アクセス権を設定できる</p>	<p>○ 非常にシンプルに、下記のような情報の公開範囲を「フォルダ単位」で、設定可能。</p> <p>○ i) そもそもフォルダにアクセス可能か？ ii) アクセス可能だとして、「編集可能」「閲覧のみ」どちらか？</p>	<p>× i) 「最上位のフォルダ」でしかアクセス権を設定できないので、思い通りに権限制御ができず、大人数で使うとナレッジ管理が複雑化する。</p> <p>× ii) さらに、「ユーザー単位」で、『編集可能』『閲覧のみ』を一律設定しなければならず、「このノートでは編集可能にして、他ノートは閲覧のみにする」という柔軟な使い方もできない。</p>	<p>× i) 「最上位のフォルダ」でしかアクセス権を設定できないので、思い通りに権限制御ができず、大人数で使うとナレッジ管理が複雑化する。</p> <p>× ii) さらに、「ユーザー単位」で、『編集可能』『閲覧のみ』を一律設定しなければならず、「このノートでは編集可能にして、他ノートは閲覧のみにする」という柔軟な使い方もできない。</p>

5. 主要ツールの比較（詳細版）

- A) すべての前提条件
- **B) 「ナレッジ・マネジメント」のプロセスに適合した仕様**
- C) その他の必要条件

		(1) ナレカン		(2) Qast		(3) NotePM	
① 社内のあらゆる場所から「ナレッジを一元化」	A. テキストベースのメモ機能	○	これ以上シンプルにはできない、「テキストベースのメモ」が実装されている。	○	「テキストベースのメモ」は実装されている。	○	「テキストベースのメモ」は実装されている。
	B. ファイル添付するだけでAIが自動要約	○	<p>ファイル(PowerPoint、Word、PDF、画像)を添付するだけで、全自動で「ファイルの要約(3行程度)」「重要ポイント(10個程度)」を抽出。</p> <p>わざわざファイルを開かずに内容を把握でき、ナレッジに即アクセス可能な状態になる。</p>	○	ナレカンのように、ファイル(PowerPoint、Word、PDF、画像など)を添付すると、「ファイルの要約」「重要ポイント」が抽出可能。	×	(実装されていない)
	C. メールの内容を自動転送	○	普段使っているメールで受信した「顧客からの問合せ」「社内からの問合せ」等を、すべて自動的にナレカンに蓄積可能で、自動的にナレッジ化可能。	×	(実装されていない)	△	別途、「ワークフロー自動化アプリ」と連携すれば、一部メールシステムと連携可能。 (ただし、設定の手間が発生、外部アプリでサポート対象外)
	D. 「チャットの内容」をワンクリックで蓄積	○	Teams・Slackで流れてしまっていた情報を、ワンクリックでナレカンに取り込むことが可能。もちろん、メッセージに添付された「ファイル」も、ナレカンに蓄積可能。	△	「Slack」「Teams」でのやり取りを取り込むことは可能だが、メッセージに添付された「ファイル」は取り込み不可能。	△	別途、「ワークフロー自動化アプリ」と連携すれば、一部チャットツールと連携可能。 (ただし、設定の手間が発生、外部アプリでサポート対象外)

		(1) ナレカン		(2) Qast		(3) NotePM	
② それを「超高精度検索」できる	A. キーワード検索	○	「平均0.2秒」で、ナレカンに格納しているキーワードに確実にヒットする。 また、ファイル内検索・画像OCR検索も可能。	△	ナレカンような「ファイル内検索」は可能だが、「画像OCR検索」には対応していない。	△	ナレカンような「ファイル内検索」は可能だが、「画像OCR検索」には対応していない。
	B. 生成AIによる自然言語検索	○	例えば、 「初回の営業時、どのように提案すれば良いか？」 と上司に質問するように問いかけると、 「ナレカン生成AI」が全ナレッジを横断して、自然言語で的確な回答を返してくれる。 そのため、ITリテラシーに関係なく、誰でも必要なナレッジに即アクセス可能になる(生成AIの自然言語検索)	○	ナレカンのように、自然言語で検索すると、AIが回答生成してくれる機能がある。	×	(実装されていない)
	C. 「自社に最適化した検索システム」の構築	○	例えば、 「『第1営業部』=『田中部』=『営1』」のように、社内独自ワード・業界独自ワードを登録できる「チーム辞書機能」が実装されている。	×	(実装されていない)	×	(実装されていない)

		(1) ナレカン		(2) Qast		(3) NotePM	
③ 自社メンバーが、「ナレッジ蓄積に巻込まれて」いく	A. 「社内版知恵袋」で、社内有識者からナレッジを聞く	○	あたかも「Yahoo!知恵袋」のように、社内有識者に対して質問を投げかけ、幅広く回答を集めることができる。	○	ナレカンのように、社内有識者に質問ができる機能がある。	×	(実装されていない)
	B. 貴社のナレッジ最新情報を把握する「ホーム画面」	○	ナレッジ管理に不可欠な5つのコンテンツが、リアルタイムで更新。 (i) 管理者からのお知らせ (ii) 最新の記事 (iii) 最新の質問 (iv) 最新の検索キーワード (v) 各種ランキング	△	ホーム画面に「メンバーに周知したい投稿」を表示できるが、ナレカンの「社内お知らせ」のような下記機能はない。 ・a) お知らせを確認するまで、他の操作をさせない機能 ・b) お知らせの「レイアウト」を変える機能	△	エンジニア向けの『マークダウン記法』で編集しなければならず(=リッチテキスト不可)、ナレカンの「社内お知らせ」のような下記機能もない。 ・a) お知らせを確認するまで、他の操作をさせない機能 ・b) お知らせの「レイアウト」を変える機能
	C. ナレッジ記載者が「報われる」「リアクション機能」	○	Facebook・X・Instagram等のSNSのように、「リアクション」されて“報われる”サイクルが埋め込まれている(週に一度、メンバー1人1人に、これまで累計で獲得したリアクション数やランキングが通知)。	△	ナレッジに対してリアクションできる機能はある。 ただし、ナレカンのように、リアクションを獲得した人に「先週、何件のリアクションを獲得したのか」というメールが、週一度送付されるなどの機能はないため、ナレッジ記載者がナレカンほどには報われない。	△	ナレッジに対してリアクションできる機能はある。 ただし、ナレカンのように、リアクションを獲得した人に「先週、何件のリアクションを獲得したのか」というメールが、週一度送付されるなどの機能はないため、ナレッジ記載者がナレカンほどには報われない。
	D. ナレッジ利用状況がメルマガで配信される	○	月に一度、メンバー1人1人に「自社専用メルマガ」が送付。 (i) 管理者からのお知らせ (ii) 閲覧された投稿ランキング (iii) 閲覧獲得メンバーランキング (iv) 最新の質問	○	各メンバー1人1人に、「最も閲覧された投稿ランキング」だけが配信される。	×	(実装されていない)

		(1) ナレカン		(2) Qast		(3) NotePM	
④ ナレッジが「正確」で「フレッシュ」な事を担保	A. 既に格納してある情報との「重複判定機能」	○	新しいナレッジを格納しようとした際、『ナレカンAI』が「既に格納されているこのナレッジと、重複していませんか？」と自動検知して知らせてくれるので、ナレッジの重複がなくなる。	×	(実装されていない)	×	(実装されていない)
	B. 一定期間使っていないナレッジを抽出する「断捨離機能」	○	①一定期間、閲覧も更新もされていないナレッジを「ナレカンAI」が自動検知し、②「このナレッジは断捨離する必要がありますか？」とアラートが出される(最終的に本当に断捨離するかは、人間が判断できる)	×	(実装されていない)	×	(実装されていない)
	C. 操作がシンプルなので更新しやすい	○	とにかくプロダクト全体がシンプルに設計されており、『最新のナレッジ』に更新する障壁やストレスがない。	△	UI/UX(ユーザーの見る画面、ユーザー体験)に、好みが分かれる。	△	基本的に「エンジニアが使う情報管理ツール」として機能開発されており、必ずしもITリテラシーが高くないメンバーが多い場合には、更新が滞ってしまう懸念がある。
	D. 公開には承認者の承認を必要とする「承認機能」	○	特に正確性が求められるナレッジには、承認者の確認プロセスを入れる「承認機能」が利用可能。	×	(実装されていない)	×	(実装されていない)

		(1) ナレカン	(2) Qast	(3) NotePM
⑤ 強力な支援受けられ、 正しく「運用サイクル」が回る	A. すぐに使えるように支援する「初期導入支援」	○ 「具体的に自社であれば、どの組織から、どのようにナレッジ・マネジメントをスタートするべきか？」等、プランの策定から支援がある。 また、「関係メンバーへのナレカン説明会」等の実施も対応。	△ 最上位プランを300ID以上で契約するのであれば、ナレッジコンサルタントの支援を受けることが可能。	△ サービスサイトに記載なく、ナレカンのように強く押し出しているわけではない。
	B. 自社内の既存データの移行支援	○ 要望に応じて、既存データの移行支援を実施。 (無料の範囲も非常に広い)	△ 最上位プランを300ID以上で契約するのであれば、ナレッジコンサルタントの支援を受けることが可能。	△ サービスサイトに記載なく、ナレカンのように強く押し出しているわけではない。
	C. 管理者がナレカン利用状況を分析する「利用状況レポート」	○ 下記の利用状況を、リアルタイムで確認することができる。 ・チーム全体の利用状況 ・グループ別の利用状況 ・ユーザー別の利用状況 ・記事/質問別の利用状況 ・検索履歴	○ 下記の利用状況を、リアルタイムで確認することができる。 ・チーム全体の利用状況 ・ユーザー別の利用状況 ・記事別の利用状況	○ 下記の利用状況を、CSV出力することだけできる。 ・ユーザー別の利用状況 ・記事別の利用状況
	D. 利用定着に向けた、「定期的なミーティングの」実施	○ 月に一回程度、Zoomにて定期的なミーティングを実施し、「現在のお困りごとの解消」「直近実装した新機能紹介」等、利用定着に向けたご支援を実施。	△ 最上位プランを300ID以上で契約するのであれば、ナレッジコンサルタントの支援を受けることが可能。	△ サービスサイトに記載なく、ナレカンのように強く押し出しているわけではない。
	E. サポートデスクの充実度	○ 通常1営業日以内に返信がある、高スピードのメール対応。	△ 問い合わせフォームから問い合わせをすると、通常2営業日以内に返信がある。	△ 何営業日以内に返信があるかは、サービスサイトに記載ない。

5. 主要ツールの比較（詳細版）

- A) すべての前提条件
- B) 「ナレッジ・マネジメント」のプロセスに適合した仕様
- C) その他の必要条件

		(1) ナレカン		(2) Qast		(3) NotePM	
⑥ コストが 予算内 であること	a) 初期費用	△	100,000円 (ナレカンを弊社が利用可能な 状態へセットアップしてもらえて、 利用メンバーへの説明会も複 数回実施できる)	×	200,000円	○	0円
	b) 月額費用	△	240,000円/月 ※150名利用の場合	×	360,000円/月 ※150名利用の場合	○	190,000円/月 ※150名利用の場合(全員が編 集権限アカウント) ※IPアドレス制限、SSOのオプション 含む

		(1) ナレカン		(2) Qast		(3) NotePM	
⑦ 大企業が導入可能なセキュリティ基準	a) 2段階認証	○	利用可能	○	利用可能	○	利用可能
	b) 2段階認証の強制	○	利用可能	—	(サービスページに情報なし)	○	利用可能
	c) IPアドレス制限	○	利用可能	○	利用可能	○	利用可能 (有料オプション)
	d) SSO	○	利用可能	○	利用可能	○	利用可能 (有料オプション)
	e) Microsoft Entra IDの利用	○	利用可能	○	利用可能	×	(実装されていない)
	f) 国際セキュリティ規格 ISO27001	○	認証を取得済み	○	認証を取得済み	○	認証を取得済み
	g) 国際セキュリティ規格 ISO27017	○	認証を取得済み	—	(サービスページに情報なし)	—	(サービスページに情報なし)

	(1) ナレカン	(2) Qast	(3) NotePM
⑧ スマホやタブレットからも利用可能	<div>○</div> <ul style="list-style-type: none">・iOS・Android共に、スマートフォンアプリ・タブレットアプリが用意されている。・パソコン版とリアルタイム同期されている・「パソコン版同様、非常に分かりやすく」設計されているというコメントが非常に多い	<div>△</div> <p>UI/UX(ユーザーの見る画面、ユーザー体験)に、好みが分かれる。 (アプリストアの評価は2.0)</p>	<div>×</div> <p>そもそも、スマートフォンアプリ、タブレットアプリ共にはない。</p>



**是非、ご検討のほどよろしくお願いします。
ご不明点があれば、いつでも担当者までご連絡ください。**